Rotary 第2820地区
Tsuchiura South Rotary Club Weekly Report 編集 土浦南RC会報委員会

土浦南ロータリークラブ 週報

雪の金閣寺

会長 稲野邉 穰　幹事 高野 和彦
■ 例 会 場　ホテルマロウド筑波 TEL.029-822-3000
■ 例会日時　火曜日　12:30～13:30
■ 事 務 局　土浦市真鍋1-2-6 金塚ビル3F TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
■ ホームページ　http://tsuchiura-src.jp
■ Eメール　info@tsuchiura-src.jp

2018～2019年度
国際ロータリーテーマ

インスピレーションになろう

地区 HP　地区行事予定

2019年1月15日　25号

2019年1月8日　第1例会報告

1．点　　鐘　稲野邉会長
2．国歌斉唱（君が代）
3．ロータリーソング斉唱
　（奉仕の理想）
4．米山奨学生紹介及び奨学金授与　稲野邉会長
5．会長挨拶　稲野邉会長
6．幹事報告　高野幹事
7．2019-2020年度 理事・役員の発表
　清野副会長
8．お誕生日の会員ご夫人のご紹介
　親睦活動委員会
9．委員会報告
10．ニコニコボックス発表　塚﨑副ＳＡＡ
11．出席状況報告　出席委員会
12．新会員卓話　今野和義会員
13．点　　鐘　稲野邉会長

（司会進行　和泉親睦委員長）

本日のプログラム
午後6時から例会，引き続き新年会でございます。

次週のプログラム
1月22日(火)の例会は，髙野竜也会員の卓話でございます。

出席状況

会員数	出席数	出席免除	出席率	全員出席卓	3名以上欠席卓	メークアップ	出席訂正率
名	名	名	%	卓	卓	名	%
93	79	7	86.81	5	8・9	なし	86.81

【米山奨学生紹介及び奨学金授与】

【会長挨拶】

稲野邉　穣　会長

皆様，新年明けましておめでとうございます。

正月は天気も良く，穏やかな新年を迎えられたことと思います。今年は，平成最後の年であります。昨年は，地震，台風と自然災害が非常に多い年でありましたので，平成の最後は穏やかな年になってもらいたいと願っています。

今年は，近いこともあり霞ヶ浦の国民宿舎に，初日の出を見に行きましたが，警察による交通整理まであり，驚く程の人出にびっくり致しました。到着した頃はまだ薄暗かったのですが，風車のところが大変な人混みで，例えは悪いのですが，まるでアブラムシが群がっているように見えました。そして，6時50分位に東の空が明るくなり，太陽が登ってまいりました。みるみるうちに霞ヶ浦全体を真っ赤に染め上げ，一斉に歓声が上がりましたが，私は，あまりのものすごい光で，逆に恐怖心を感じてしまいました。まるで地球が真っ赤に燃えるように見え，これは今年も何か災害があるのではと思った程でした。

その後，笠間稲荷へ初詣に出かけまして，帰りがけにいい匂いのするベビーカステラを買おうか買うまいか迷っていたところに君山君から声をかけられ，今年最初にロータリーメンバーに出会えて嬉しい気持ちになりました。今年は，君山君と深い仲になりそうな気がします。

さて，今月は職業奉仕月間です。ロータリーの職業奉仕は，ロータリアンが親睦を深め，自己研鑽を重ね，それぞれの職業を通じて奉仕に繋げる事とされております。変わらないロータリアンの職業奉仕に対する理念を大切に，今後も，職場に於いて高い倫理観を保ち経営の実践をお願いしたいと思います。

２月には，職業奉仕委員会による優良事業所訪問がございます。今年は，塚本会員のリーデンさんにお世話になりますので，多くの皆様の参加をお待ちしております。今泉委員長，どうぞ宜しくお願い致します。

本年度もまだまだクラブの事業，地区・分区の事業も残っておりますので，残り半年，続けて皆様のご協力を宜しくお願い致しまして，新年の挨拶とさせていただきます。

【2019-20年度　理事・役員 発表】

清　野　宏　之　副会長

会　長	清野　宏之	理事（職業奉仕）	説田　賢哉	ＳＡＡ	塚﨑　雅之
会長エレクト（兼会員組織委員会）	海老原一郎	理事（社会奉仕）	片岡　信彦	副幹事	杉田　一男
幹　事	阿部　　彰	理事（青少年奉仕）	稲本　修一	副ＳＡＡ	小城　　毅
会　計	井坂　雄祐	理事（国際奉仕）	中山　元章	副ＳＡＡ	髙橋　信子
理事（直前会長）	稲野邉　穣	理事（ロータリー財団）	堀越　泰樹	副ＳＡＡ	大山　直樹
理事（クラブ管理運営）	齊田　正一	理事（米山記念奨学）	今泉　孝之	副会計	瀬尾　達朗

【委員会報告】

職業奉仕委員会　　今　泉　孝　之　委員長

本日から各テーブルにブルーの「優良事業所見学会開催のお知らせ」を配布しています。

来月２月 19 日，移動例会を理事会で承認いただきました。訪問先は，リーデンさんとうまい家さんです。

聞くところによると，リーデンさんに塗装の新しい機械が，相当高価な機械らしいのですが，腐食しない塗装の機械が入ったそうです。

うまい家さんは，昨年 11 月１日にオープンしました。

リーデンさんには全員が座れる会場がないということで，うまい家さんの新店舗で，職業奉仕にちなんで片岡パストガバナーに卓話をいただくということになっています。

なお，うまい家さんの懇親会だけの参加もＯＫです。会費は，移動例会ということで 2,000 円のみ頂く事になりました。奮ってのご参加よろしくお願いいたします。

親睦活動委員会　　小　城　　毅　委員長

来週１月 15 日は新年会です。昼間の例会はなく，18:00 よりさくらガーデンで例会・新年会を行います。土浦駅東口より，17:30 にさくらガーデンの送迎バスが出ます。

宜しくお願い致します。

【新会員卓話】　　今　野　和　義　会員

明けましておめでとうございます。関彰商事の今野と申します。

入会以来１年が経ちまして，今回，新会員卓話をさせて頂く事になりました。今年度，会報委員会に所属しております。まだお話していない方もいらっしゃるので，この機会に顔を覚えて頂ければと思っております。

今日は，地球温暖化と当社の環境事業ということでお話しをさせていただくのですが，本題に入る前に，関彰商事について若干お話しをさせていただきます。

関彰商事は明治 41 年に創業いたしまして，今年 111 周年を迎えます。皆さんもご存じの通り，油，LP ガス，それを中心に皆さまには大変お世話になっていると思います。その他に，自動車関連，今ですと，ホンダ車を中心にベンツ，BMW，プジョー，ポルシェ，MINI 等の車種を扱っています。それから，八島さんが責任者をしていたビジネスソリューションという部門もございまして，そちらは法人向けの情報機器関連を販売しています。その他には，つくばエクスプレスの駅ナカコンビニ（ファミリーマート），ａｕショップ，ソフトバンクショップを約 20 店舗ほどやっています。その他，設備工事をやらせて頂いています。

今現在，2,200 名の社員が働いています。その中で私は，グリーンエネルギー部に所属しております。エネルギーの中でも環境にいいものを関彰商事として扱おうということで，頑張っているところでございます。その中から，地球温暖化と当社の環境事業についてお話したいと思います。

地球温暖化と当社の環境事業

《土浦南ロータリークラブ会員卓話資料》

今野和義

2019年 1月 8日

SEKI SHO
関彰商事株式会社

目次

地球温暖化と当社の環境事業

› 1. はじめに
› 2. 地球温暖化
› 3. パリ協定
› 4. 助成制度を活用した当社の環境事業

1. はじめに

本資料は、2018年11月8日に関彰商事がベトナムの日越大学インターンシップ生向けに作成、説明した資料です。

皆様ご存知の方が多いと思いますが、改めて地球温暖化、パリ協定についてご説明させて頂くと共に、当社が活用している助成制度と当社の環境事業を、実際の事例をご紹介する形でご説明させて頂きます。

短い時間ではありますが、よろしくお願い致します。

目次（詳細）

2. 地球温暖化

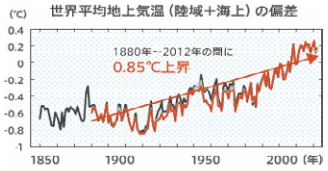
(1) 地球温暖化の現状

(2) 21世紀末の地球は？

(3) 地球温暖化のメカニズム

(1) 地球温暖化の現状

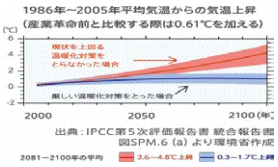
世界平均地上気温は、
1880年から2012年の期間に0. 85℃上昇した。



出典：IPCC第5次評価報告書 統合報告書
政策決定者向け要約　図SPM.1(a)より環境省作成

(2) 21世紀末の地球は？

20世紀末頃（1986年～2005年）と比べて、有効な温暖化対策をとらなかった場合、21世紀末（2081年～2100年）の世界の平均気温は、2.6～4.8℃上昇、厳しい温暖化対策をとった場合でも0.3～1.7℃上昇する。



出典：IPCC第5次評価報告書 統合報告書
図SPM.6 (a) より環境省作成

さらに、平均海面水位は、最大82cm上昇すると予測されている。

(3) 地球温暖化のメカニズム

太陽からのエネルギーで地上が温まる

地上から放出される熱を温室効果ガスが吸収・再放射して大気が温まる

温室効果ガスの濃度が上がると温室効果がこれまでより強くなり、地上の温度が上昇する

これが地球温暖化

出典：環境省

目次（詳細）

3. パリ協定

(1) 温暖化対策の新しい枠組み

(2) パリ協定の画期的ポイント

(3) 日本の削減目標

(4) 環境と経済の両立

(1) 温暖化対策の新しい枠組み（パリ協定）

パリ協定とは、2015年にパリで開かれた、温室効果ガス削減に関する国際的取り決めを話し合う「国連気候変動枠組条約第21回締結国会議（通称COP21）」で合意された、2020年以降の気候変動問題に関する国際的な枠組みのこと。180か国が批准して2016年11月に発効した。

パリ協定では、世界共通の長期目標を掲げている

・産業革命前からの世界の気温上昇を2℃未満、可能であれば1.5℃未満に抑える。

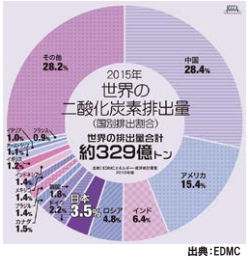
(2) パリ協定の画期的ポイント

①先進国・途上国の区別なく、すべての国が参加する枠組みであること。

②先進国が途上国に資金支援（約1千億ドル）を行う。

③各国の削減・抑制目標は、各国の情勢を織り込み、自主的に策定することが認められている。

④長期目標の下、各国は5年毎に、従来より前進した削減目標を提出・維持し、目的を達成するための国内対策を追求する。



出典：EDMC

(3) 日本の削減目標

国名	1990年比	2005年比	2013年比
日本	▲18.0%	▲25.4%	削減目標 ▲26.0%（2030年までに）
米国	▲14～16%	削減目標 ▲26～28%（2025年までに）	▲18～21%
EU	削減目標 ▲40%（2030年までに）	▲35%	▲24%
中国	・2030年までに2005年比でGDP当たりの二酸化炭素排出を60～65%削減 ・2030年頃に二酸化炭素排出のピークを達成		
韓国	・2030年までに、対策を講じなかった場合の2030年比で37%削減		

出典：経産省

日本は2013年比26%削減、米国は2005年と比べた場合の数値、EUは1990年と比べた場合の数値を目標として提出。
比較年度を2013年に合わせた場合、上表赤枠のようになる。

(3) 日本の削減目標

国名	1990年比	2005年比	2013年比
日本	▲18.0%	▲25.4%	削減目標 ▲26.0%（2030年までに）
米国	▲14～16%	削減目標 ▲26～28%（2025年までに）	▲18～21%
EU	削減目標 ▲40%（2030年までに）	▲35%	▲24%
中国	・2030年までに2005年比でGDP当たりの二酸化炭素排出を60～65%削減 ・2030年頃に二酸化炭素排出のピークを達成		
韓国	・2030年までに、対策を講じなかった場合の2030年比で37%削減		

出典：経産省

日本は2013年比26%削減、米国は2005年と比べた場合の数値、EUは1990年と比べた場合の数値を目標として提出。
比較年度を2013年に合わせた場合、上表赤枠のようになる。

11

目次（詳細）

4. 助成制度を活用した当社の環境事業

(1) 再生可能エネルギー事業者支援事業
(2) 地産地消型再生可能エネルギー導入拡大事業
(3) 民間防災拠点施設再生可能エネルギー等導入促進事業
(4) 災害対応型中核給油所等整備事業
(5) エネルギー多消費型設備天然ガス化推進事業
(6) 自主参加型国内排出量取引制度
(7) 再生可能エネルギー固定価格買取制度
(8) CO2削減ポテンシャル診断事業・低炭素機器導入事業

(1) 再生可能エネルギー事業者支援事業（経産省）

地域における再生可能エネルギー利用の拡大を加速するため、民間事業者が導入する、太陽熱・バイオマス・地中熱等を利用した熱利用設備や、自家消費向けの太陽光発電・バイオマス発電等の発電システム、蓄電池の費用を補助する。

工場の屋根への太陽光発電設備設置
（工事費20万ドル、補助金7万ドル）

(2) 地産地消型再生可能エネルギー導入拡大事業（東京都）

都内における再生可能エネルギーの普及促進及び温室効果ガスの排出削減を図るため、民間事業者による自家消費型の再生可能エネルギー発電等設備及び熱利用設備の導入に対する費用を補助する。

病院屋上への太陽光発電設備設置
（工事費20万ドル、補助金7万ドル）

(3) 民間防災拠点施設再生可能エネルギー等導入促進事業（茨城県）

災害に強く環境負荷の小さい地域づくりを推進するため、地域グリーンニューディール基金を活用して、防災拠点や避難所等となりうる民間施設へ再生可能エネルギー及び蓄電池等を導入する事業主に、設置費用の一部を補助する。

学校屋上への太陽光発電設備設置
及び屋内型蓄電設備設置
（工事費40万ドル、補助金13万ドル）

(4) 災害対応型中核給油所等整備事業（経産省）

東日本大震災の発生時、停電等で多くの給油所等が稼働停止に追い込まれたことにより、石油製品の安定的な供給に支障が生じた経験を踏まえ、石油販売業者が、給油所に自家発電設備を設置する等石油製品の供給拠点の災害対応能力を強化する取組に要する経費に対して補助する。

ガソリンスタンドでの
太陽光発電設備設置
非常用発電設備設置
（工事費20万ドル、補助金13万ドル）

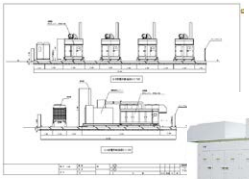
(5) エネルギー多消費型設備天然ガス化推進事業（経産省）

油等の燃料を使用している設備を「天然ガスを主原料とするガス」へ燃料転換した場合に、それに要する費用の一部を補助する。

工場へのLNG（液化天然ガス）設備
及びガス炊き蒸気ボイラ設置
（工事費500万ドル、補助金170万ドル）

(6) 自主参加型国内排出量取引制度（環境省）

温室効果ガスの費用効率的かつ確実な削減と、国内排出量取引制度に関する知見・経験の蓄積を目的として費用の一部を補助する。



工場へのガスエンジンコージェネ設備
及びボイラ、吸収式冷凍機等設置
（工事費700万ドル、補助金230万ドル）

イメージ写真

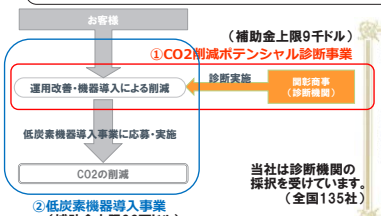
(7) 再生可能エネルギー固定価格買取制度（経産省）

再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が一定価格で買い取ることを国が約束する制度で、電力会社が買い取る費用を電気をご利用の皆様から賦課金という形で集め、今はまだコストの高い再生可能エネルギーの導入を支えていくものです。

当社自身による
メガソーラーの建設・運用
（工事費1,500万ドル）
（売電250万ドル／年）

(8) CO2削減ポテンシャル診断事業・低炭素機器導入事業（環境省）

環境省の採択を受けた診断機関が、お客様の設備や運用状況、エネルギーの消費状況を確認し、CO2削減対策を提案するところでその費用を補助する。
また、診断に基づいた低炭素機器の導入に関してその費用の一部を補助する。



（補助金上限9千ドル）

当社は診断機関の採択を受けています。
（全国135社）

ご清聴ありがとうございました。